

若者等活動拠点施設整備に向けた検討会(第3回)結果報告

日時 平成30年2月10日(土) 午前9時30分～12時00分

場所 高山市役所 2階 201・202会議室

出席者 検討メンバー 21名

事務局(高山市企画課、飛騨高山大学連携センター)4名

内容

1. あいさつ(開会) 田谷参事

- ・ 第2回までの流れ、第3回の主旨、様々な提案があるなか重なる部分も多く、共有できるイメージとして深めていく
- ・ 縦糸(地域の歴史文化)、横糸(若者活動)で布を織り成していくように丁寧に進めたい(中島みゆき「糸」より)
- ・ 「お話し」の人の声や「お囃子」などの音色が聴こえてくるような場所としていきたい

2. ワークショップ

今回の進め方の説明の後(議論に入る前)に、次の要旨で質疑がある。

(メ:検討メンバー、事:事務局)

メ:建物を保存するかどうかをまず決めないと、検討できないのではないかと

事:保存と活用両面から様々なアイデアを掘り下げてから、共有イメージとして組み立てていきたいと考えている

メ:記入例による2階の使用は、階段の整備など制約がある。その意味からも早期に絞り込みをしてもらいたい

事:2階を活用するかどうかも含め、これから議論したい

メ:建築士として発言させてもらおうと、伝統建築の改修に様々な制約が伴うのは事実だが、具体的な希望や熱意を示してもらえば最善手を考えられる。様々なアイデアを出してからの絞り込みが良いのでは

メ:地域住民としては恐怖を感じる。例えば宿泊など、市として不可な内容は早く示してもらいたい

事:現時点で決め付けられないと考えており、議論を深めるなかで絞り込んでいきたい

希望するグループに分かれてグループ討議の後、各グループから発表、質疑応答

①憩いや癒しの場 5名

ア.憩いのスペース「蔵」

...土蔵を活用し、不登校児童生徒等が安心して過ごせる居場所として定期的に開催

意見:サブカルチャーの要素やアチーブス(仲間と協力してクリアするゲーム)などを取り入れてもいいのでは

不登校児の居場所をつくったとしても、実際には外出することも難しいことがある

何もせずとも居ても良いと受け止めてくれる人が居てくれることが重要

市内の不登校児全ては難しいかもしれないが、現状と比べ、多くの児童らにとっての助けとなると考える

イ.特定目的に訪れる場

...不特定多数に開放せず、目的を持って訪れる人のみを対象とした活用

意見:様々な提案は、旧村田邸でやるべきことか疑問である。駐車場もない。誰でも来られるような施設には反対

②活動に対する発表や展示の場 4名

ウ.文化芸術、音楽等の舞台

...施設内各所での音楽、演劇、文楽、狂言、能などの発表

エ.文化活動の展示、発表の場

...和室等があるがままに利用した絵や写真、現代アート等の展示

補足:活動が施設のイメージに合致するか、個別案件ごとに地元住民の投票で認めてはどうかなどの意見も出た

質疑:(事)高校生の軽音部の発表(バンド演奏)など伝統建築のイメージから離れる活動についてはどう考えるか?

(×)地域への挨拶や、時間、頻度等により、全く否定するものでない

③学びや語りの場 10名

時間切れにより、具体的な提案の絞込みまでには至らず

一般的⇔専門的、個人⇔集団の区分で意見をグルーピングし概要を発表

地域のコミュニティを崩さないよう配慮しつつ、社会的な意義を有する施設(例:ラーニングセンター)としたい

④祭りや地域文化を知る場 <希望者なし⑤グループからの提案>

オ.祭りのごっつお教室

...市民や観光客が各屋台組の想いを聞きながら祭料理を作って食べる教室(月1回程度)

カ.高山祭にわかガイド～高校生編～

...大学連携センターと協力し、高校生が春・秋の高山祭を取材し、英語等による展示や発表を行う

繭倉庫に大型スクリーンを設置し、出歩けない身障者が高山祭の映像鑑賞

⑤その他専用施設(劇場、店舗、飲食店、宿泊等) 2名

キ.駄菓子屋カフェ

...おばあちゃんが店番の小中高校生・保護者向けの勉強、おしゃべり、スポーツ観戦などでもできるカフェ

ク.高校生レストラン～ふるまい編～

...地域の高齢者などによる料理指導等を通じたキャリア教育や郷土教育のため、高校生による地元食材を使ったレストランを不定期開催(ワンコイン程度)

質疑:(事)専用施設として⑤グループを作ったが、旧村田邸の一画を占有する必要性はどうか?

(×)放課後など特定の日時、イベント的な実施が想定され、飲食店などの用途による占有までは不要と考える

3. 閉会

次回(第4回)の開催は、2月28日(水)19時からを予定しているので、ご参加をお願いしたい。

以上